



毎年9月1日は、台風や地震、津波などの自然災害について認識を深め、災害への準備をする「防災の日」です。災害への備えを充実させることで、二次災害等を未然に防ぎ、被害を減らしましょう。今回は、「家庭で簡単にできる防災の取り組み」についてご紹介します。この機会に、もう一度ご家庭の防災対策を見直してみてもいかがでしょうか。

●避難先や連絡先の把握

災害に備えて家族と話し合い、いざというときはどこに集まるのか、どこに連絡すればよいのかを確認しましょう。また、日ごろから地域の防災訓練に参加しておく、避難所や避難方法が分かり安心です。



●情報の入手

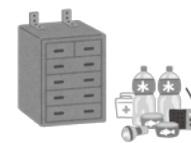
村から無償で借りることができる防災行政無線戸別受信機(防災ラジオ)はきちんと放送を受信し

ていますか？ また、スマートフォンなどを使用している方は、村公式ツイッターやフェイスブックはもちろん、7月から配信が始まった村公式アプリケーション「こちら東海村」もぜひご利用ください。



●物資の備蓄・安全の確保など

日持ちのする食べ物や飲料水を備蓄したり、L字金具や突っ張り棒を使って家具を固定したりし、災害に備えておくことが大切です。また、日ごろから、隣近所の方とコミュニケーションをとり、いざというときに、助け合えるつながりを構築しておくことも大切です。



【問い合わせ】

防災原子力安全課消防防災・原子力安全担当 ☎ 282-1711 内線1524)

文芸とうかい

〔俳句〕



大花火見果てぬ闇に挑みけり
南台 渋谷ひろし

おどろきの蝉鳴くときは濁音で
村松 松本 正勝

笹舟や夢をみちづれ明日へこご
豊白 中島エミ子

昭和歌謡流るる朝の終戦日
豊白 小林 久男

在りし日の得意げの顔夏帽子
緑ヶ丘 田中ミヤ子

不意打ちのこむら返りや昼寝覚む
村松北 小野寺紀夫

まつ直ぐもおじぎも背なり墓詣
村松 大内たけみつ

〔短歌〕

七夕に宇宙へと夢乗せてステーションでの成
功祈る
照沼 佐藤 昇



昼すぎのつづら坂越え山間の空屋のふえし産土に
来し
内宿 村上 文江

白百合が繁みの中に咲く見えて面影
偲ぶ盆近づきぬ
外宿 小林美代子

夏休み海にプールと待ち待ちし風の冷たく行けず子の泣く
内宿 三浦 充宏

庭隅に連なり熟れるミニトマトひとつ食べれば日向の味す
須和間 柴山 靖子

蝉しぐれ聞くこともなく盆に入り蝶も蜻蛉も少なくなりしか
緑ヶ丘 佐藤 正

人生は短きものよ九十の吾も二十の軍属なりき
駅 村上より子

鎮魂の祈りとどくか満州の地非命に倒れし人多く見し
白方中央 篠崎 正卓

蝉の羽よるよるはこぶアリのいて蟻の一穴はねをどうする
豊白 梅津 秀雄



「文芸とうかい」作品(俳句・短歌)募集

対象 ▼村内在住の方 ※お子さんから高齢の方まで、幅広い世代の方の作品をお待ちしています。

応募方法 ▼作品▽氏名▽住所——を明記の上、郵送または電子メールで応募してください。

その他 ▼必要に応じて選歌・添削をする場合があります。あらかじめご了承ください。

申し込み・問い合わせ ▼広報広聴課情報発信担当
(〒319-1192 東海3-7-1 ☎282-1711 内線1305 ✉kouhou@vill.tokai.ibaraki.jp)